職員紹介

土木 交通戦略室　交通計画課　土持 さつき

●大阪府を志望した理由は何ですか。

学生時代に土木を専攻し、都市計画などについて研究をしており、その経験を活かして自分の生まれ育った大阪の街や住民のために働きたいと思い、市町村をまたぐ広域的で大規模な仕事ができる環境が整っている大阪府に入庁しました。

●仕事への“やりがい”を教えてください。

平成25年度に入庁し、西大阪治水事務所、茨木土木事務所を経て、現在は交通戦略室の交通計画課安全対策グループに所属しています。

西大阪治水事務所では、河川の整備や維持管理に関すること、茨木土木事務所では道路や橋梁の設計・補修等に関することに携わり、今は、警察等と連携し、交通事故から大阪府民を守る交通安全啓発等を行っています。このようにハードからソフトまで幅広い業務に携わる事ができることも大阪府の魅力だと考えています。

これまで携わった中で印象深かったのは、歩道整備工事を担当したことです。工事完成後に沿道の方々や関係者から感謝の言葉をいただき、仕事にやりがいを感じたことを覚えています。

●受験者の方々への one point advice

土木の仕事は、社会を支える基盤となるインフラを次世代に繋げる大切な仕事であり、自分の描いたものを形として残せる魅力的な仕事です。将来、自分自身がどのようなものを作り、残していきたいかを思い描き、更に魅力あふれる都市（大阪）にできるよう一緒に考えましょう。

機械 東部流域下水道事務所　設備第一グループ　松原 達也

●大阪府を志望した理由は何ですか。

平成 24 年 8 月の大雨浸水被害で寝屋川市駅周辺が水浸しになったことを、当時ニュースで知り、その映像に大きな衝撃を受けました。なぜこのような浸水被害が起きたのか調べたところ、寝屋川周辺地域は地形の性質上、雨水が河川に流れないということを知りました。それと同時に大阪府の政策として「寝屋川流域総合治水対策」があることを知りました。身近な地域の防災への取り組みに興味を持ち、また、大学で専攻していた機械学科知識を活かせることから入庁を志しました。

●仕事への“やりがい”を教えてください。

これまでの経歴として、入庁後、西大阪治水事務所に配属され、現在は東部流域下水道事務所に所属しています。

西大阪治水事務所では、高潮対策を担う三大水門の維持管理に携わっていました。水門設備の状態を日々管理し、試運転による動作確認を行っています。不具合のある設備に対しては補修工事を発注するなど、いざというときに水門が問題なく稼働できるように維持する、というのが主な仕事です。平成 30 年の大型台風 21 号の時には現場で水門を操作し、大阪の町の高潮による浸水被害を防ぎました。

普段の水門維持管理の成果が、府の防災へと貢献したということが、やりがいに繋がりました。

東部流域下水道事務所では、入庁のきっかけとなった「寝屋川流域総合治水対策」の一つである、雨水ポンプの能力アップ工事の担当をしています。また、老朽化した下水施設の設備更新に携わっています。下水施設は常に稼働している施設であり、設備の更新は、施設の稼働を停止させずに行う必要があります。そのためには、更新工事前から入念に工事計画の打ち合わせや各方面への調整を行い、工事施工に問題がないことを重々確認したうえで工事を進めなければなりません。決して楽な仕事ではありませんが、その分、工事完成したときの達成感は大きく、次の仕事へのモチベーションとなっています。

●受験者の方々への one point advice

大阪府の機械職を受験される方は、機械分野の基礎的な勉強をするとともに、過去問でどのような問題が出題されているのか調べてみてください。また、大阪府が行っている政策を調べ、自身のこれまでの経歴がどのように活かせるのか、どこに興味があるのかを考えてみるといいかと思います。

大阪府で働いていると、思った以上に大阪府の政策が、府民である自分の生活に影響を与えていることを感じます。一緒により良い大阪府を作りましょう。

土木（流域） 八尾土木事務所　都市みどり課　小田巻 直矢

●大阪府を志望した理由は何ですか。

学生時代に植物のことを専攻していたことから、まだまだ緑が豊かではない大阪であるからこそ、それまで勉強してきた知識が生かせることができると思い、そして大阪出身ではない自分だからこそ、新たな視点で大阪のまちづくりに貢献できるのではないかと考え、大阪府に入庁しました。

●現在の担当業務についてお聞かせてください。

現在は中河内地域を所管する八尾土木事務所で、府営公園と街路樹の整備・維持管理を行う「都市みどり課」に所属しています。

公園は私たちの生活にとても身近な存在として誰もが気軽に利用できる施設の一つです。普段は「いこいの場」として機能している公園ですが、災害時には「防災公園」として機能する一面もあります。現在、担当しているのは、府営公園「久宝寺緑地」における新規エリアの設計と工事です。久宝寺緑地では、有事の際に避難者を受入れ、また警察や消防などの活動拠点を確保するため、公園エリアを拡張しています。遊具やベンチ・広場などの整備では、平常時の使われ方を想定しつつ、有事には、府民の命を守る防災施設となるよう工夫しています。「公園の整備」という観点から、府民の方のいこいの場を創出するとともに、災害に強くなる大阪のまちづくりに携わることに、とてもやりがいを感じています。工事の中で、目の前で遊具が組み立てられ、公園が出来上がっていく過程を目にしたときは、とても感動しました。

●受験者の方々への one point advice

試験勉強のために机に向かうことも大切ですが、まずは大阪のまちを実際に歩いてみて、大阪の魅力・課題に改めて気付くことが大切です。そこで自分の目で見て感じたことは、面接で話す志望動機だけでなく、実際に業務を進めていくうえでも活きてきます。みどりで彩り、災害にも強い大阪のまちを一緒に創っていきましょう！

電気 西大阪治水事務所　設備グループ　入江　諒

●大阪府を志望した理由は何ですか。

私の出身地である大阪府に貢献したいという想いがあったため志望しました。

具体的には、今後、東日本大震災のような大規模地震が大阪でも起こりうると言われているため、災害から家族や府民、街を守るという自身の生活に直結する仕事に就きたいと思ったためです。

●現在の担当業務についてお聞かせてください。

現在は、水門等の防災施設の維持管理を行う西大阪治水事務所に所属しています。

同事務所管内には、水門が 9 か所あります。水門は津波発生時や台風による高潮などの被害から府民の生命や財産を守るための防災施設です。それを日頃から維持管理し、実際に動かすことが仕事の一つです。台風時には職員たちはひと晩中、事務所や現場で水位を監視することもあり、水防本部からの指示があった際は水門を操作しなければなりません。

平成 30 年の大型台風時には現場にて施設を実際に動かす業務に携わりました。入庁して間もなく大きな経験をしたことがとても印象に残り、現在までの自信とモチベーションにつながっています。また、近年は南海トラフへの備えも必須項目となりました。予測不可能な地震による津波対策のために、Jアラートと連携した水門を自動閉鎖化するための工事の施工管理を行ってます。

●受験者の方々への one point advice

年度ごとの府の目標プランなどを把握して自分の専門分野が具体的に役立つことを見つけてください。また津波・高潮スペシャルの見学や、YouTube で治水事務所の動画、特に平成 30 年の大型台風時の水門の閉鎖状況を見るのもおすすめですよ。

職種ごとの業務内容

土木
※造園分野含む

大阪の成長、安全・安心、都市魅力の向上を実現するため、道路・鉄道・河川・下水道・港湾・公園等の都市基盤施設の政策や計画の立案、整備、維持管理の業務や将来の都市像を示す都市計画の策定、指導、都市緑化施策の推進等の業務を行います。また、地震や大雨等の際に府民の財産や生命を守るため、防災体制を敷いてさまざまな活動を行います。

機械

府民生活に不可欠な下水道施設、洪水や高潮等の自然災害から府民を守る水門やポンプ場、府営住宅、府立学校、図書館等の公共建築物の空調設備や給排水設備等、都市基盤施設等が機能を果たすために必要な機械設備について、計画、設計、施工管理から運用、維持管理に至るまでの機械設備に関する業務を行います。

電気

府民生活に不可欠な下水道施設、洪水や高潮等の自然災害から府民を守る水門やポンプ場、府営住宅、府立学校、図書館等の公共建築物の受電設備や監視設備等、都市基盤施設等が機能を果たすために必要な電気設備について、計画、施工管理から運用、維持管理に至るまでの電気設備に関する業務を行います。

勤務場所について

（令和4年3月時点）

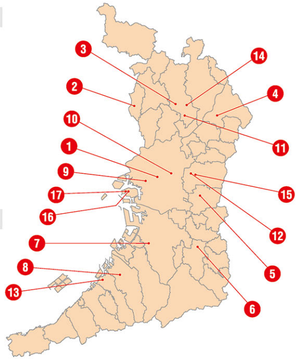
都市整備部

1 都市整備総務課
- 事業管理室
- 道路室
- 交通戦略室
- 河川室
- 下水道室
- 公園課
- 用地課

2 池田土木事務所
3 茨木土木事務所
4 枚方土木事務所
5 八尾土木事務所
6 富田林土木事務所
7 鳳土木事務所
8 岸和田土木事務所
9 西大阪治水事務所
10 寝屋川水系改修工営所
11 北部流域下水道事務所
12 東部流域下水道事務所
13 南部流域下水道事務所
14 安威川ダム建設事務所
15 モノレール建設事務所

他部局

16 大阪都市計画局
17 大阪港湾局



令和4年度 技術系職員採用試験について

		採用予定人員	受験資格(対象年齢)	申込受付開始	第1次試験	最終発表	倍率(令和3年度)
高校卒程度	土木（※造園分野含む）	5名程度	18歳から21歳	7月上旬	9月下旬	11月下旬	1.4倍
	機械	1～3名					1.0倍
	電気	1～3名					1.0倍
大学卒程度	土木（※造園分野含む）	35名程度	22歳から29歳	3月1日	【SPI3】4月16日から5月1日まで【個別面接】6月1日から6月5日のいずれか1日	7月21日	1.8倍
	機械	5名程度					2.6倍
	電気	1～3名					2.5倍
社会人等	土木（※造園分野含む）	1～3名	30歳から34歳	8月上旬	10月上旬	12月下旬	2.0倍
	機械	1～3名					1.3倍
	電気	1～3名					3.0倍

※令和4年度の試験内容については 大阪府職員採用試験案内 をご確認ください。

大阪府職員採用試験案内サイト
https://www.pref.osaka.lg.jp/jinji-i/saiyo/

子育てと仕事の両立をサポートする制度

お父さん、お母さんどちらでも取得可能です！

多くの職員が子育てをしながら活躍しています！

- 子どもが満3歳になるまで取得可能な育児休業
- 小学校入学前までの育児のための育児短時間勤務、部分休業（1日2時間以内）
- 中学入学前の子どもが熱を出して病院に連れて行くときなど、子どもの看護のための特別休暇

大阪府技術職【土木・機械・電気】採用情報サイト

動画もご覧下さい。

https://www.pref.osaka.jp/doboku/tech_job/

大阪府
大阪府 都市整備部
都市整備総務課 人事グループ

〒540-8570
大阪市中央区大手前3丁目2-12 別館4階
電話：06-6944-6775（直通）

OSAKA, KANSAI, JAPAN EXPO 2025

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

令和4年3月1日時点の情報を基に作成しています。
令和4年3月発行

大阪府

2022 ▸ 2023

大阪府技術職 採用ガイド

土木　機械　電気

技術系職員採用試験について

大阪府では、高等専門学校卒業の方も、技術（大学卒程度）試験にチャレンジできます！

試験区分	受験資格
高校卒程度	試験実施年度末年齢が18歳から21歳の人
大学卒程度	（1） 試験実施年度末年齢が22歳から29歳の人 （2） 試験実施年度末年齢が21歳以下の人で、学校教育法に基づく大学（短期大学を含む。）若しくは高等専門学校を卒業した人（試験実施年度末までに卒業する見込みの人を含む。）又はこれと同等の資格があると人事委員会が認める人。
社会人等	試験実施年度末年齢が30歳から34歳の人